

金曜ウォーク@宇部 2021.11.26 (金) 487回 2012.08.12 から

発行：いのち・未来うべ 宇部市立図書館 雑誌スポンサー 『世界』（岩波書店）を提供

『明日のハナコ』～原発と表現の自由～

福井の高校演劇から表現の自由を失わせないための『明日のハナコ』上演実行委員会の
アピールから転載します。

「ハナコ」というのは、『明日のハナコ』という劇の主人公の名前です。 この劇は今年9月の福井
県高校演劇祭で、福井農林高校演劇部によって上演されましたが、その後、映像を残すことも、脚本
を読むことも禁止され、マボロシの舞台にされてしまいました。 いったいなぜ、『ハナコ』は禁止
されたのでしょうか。

●『明日のハナコ』あらすじ●

舞台はある高校。「ハナコ」たちは今度上演する劇の稽古をしている。その劇は、1948年の福
井震災から始まって現在までの歴史をたどるものだった。学校のこと、仕事のこと、戦争のこと、原
発のこと、未来のこと・・・ 彼女たちはさまざまなことを考え、そして成長していく。(裏面につ
づく)

~~~~~

## ◎小出裕章さん講演会、来年4月確定！

2012年3月以来、10年ぶりに宇部に來ます。

2022年4月16日午後6時～8時半 宇部市文化会館

小出裕章さんのホームページ <http://www.go.tvm.ne.jp/~koide/Hiroaki/index.htm>

## ◎いのち・未来うべオンライン学習会

### 原発も原爆も変わらない

報告：上里恵子さん(原発の根っこを見る会)

日時： 11月27日(土) 19:00～20:30 場所：ZOOM

参加希望者は、岡本正彰さんまで [facebook\(https://www.facebook.com/mottomotookamoto/\)](https://www.facebook.com/mottomotookamoto/)に  
メッセージ または、[mottomotookamoto@themis.ocn.ne.jp](mailto:mottomotookamoto@themis.ocn.ne.jp)にメールでお知らせください。

折り返し zoom アドレスとパスワードをお送りいたします。

## いのち・未来うべ 会員を募集中です

私たちは、原発のない社会を求める市民グループです。2011年3月11日の福島原発過酷事故の1  
年後、2012年3月18日に宇部市で開催された「小出裕章さんのお話を聴く会」が母体です。ストップ  
上関原発！地域から声をともにあげましょう。

○金曜ウォーク 毎週金曜日午後6時 宇部市役所前に集合、

情報交換とアピール。気軽にご参加ください。

連絡先：〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36 宇部市民活動センター「青空」

いのち・未来うべ 電話 080-6331-0960 (安藤公門)

(上演実行委員会からの転載、表からつづく)

福井の高校演劇から表現の自由を奪わないで！

顧問会議は『明日のハナコ』の排除を撤回してください。



このたび、福井農林高校演劇部の上演にかかわる顧問会議の一連の動きを、重大な表現への抑圧だと考える有志が、実行委員会を立ち上げ、上演にむけて活動を始めることにしました。実行委員会の求めることは、以下の通りです。

・10月8日の顧問会議で行われた決定3項目を撤回すること。  
(ケーブルテレビでの放映の禁止／記録映像閲覧の禁止／脚本集の回収)

・福井農林高校演劇部員たちへ誠実な謝罪をすること。

・今後演劇表現の内容をもとにあらゆる不利益な扱いをしないこと。・表現の内容に理不尽な介入をしないこと。

・人権侵害を行ったことへの真摯な反省を表明すること。

#### 【ことの経緯】

2021年9月18日～20日、例年どおり県の高校演劇祭(演劇部の県大会)が県民ホールで開かれ、福井農林高校演劇部は「明日のハナコ」という劇を上演しました。創作作品です。この世界はいったいどうなるのだろう

う、自分たちはどうなるのだろう、と不安と闘う少女の成長の物語です。原発の問題、生きる上で大切な誠実の問題、などが盛り込まれていました。

(中略)

上演した生徒たちは、「いわれなき批判がくるかもしれない」と聞かされて、不安な面持ちになりました。けれども、そのあと、それでも放映してほしいと言いました。悔しい、と泣いていました。自分たちが稽古してきた劇が放送してもらえないのは悔しいと。

私たち実行委員会は、どうしても、その泣いた生徒のことを考えると何かしないではいられないという気持ちになります。生徒たちは、自分たちの劇がテレビ放映にふさわしくないとされたことに傷ついています。生徒たちは、信じてもらえなかったということに傷ついています。稽古しながら、原発の問題や社会の問題について、自分たちでも調べました。「こういうことは今まで考えたこともなかった」という部員もいました。それでいろいろ考えるようになった。それこそ「学習」というのではないのでしょうか。

世界に類のない原発集中立地のこの県で、こうした表現の抑圧がまかりとおるようになれば、日本中の表現者にとって、重大な抑圧への一歩です。表現の自由は、基本的人権の最重要な一つです。生徒たちの表現への悪罵とも言える三項目の決定は、あらゆる人の基本的人権に対する敵対宣言と言えます。

今これを看過したら、今後も権力者や学校当局などにとって不都合な表現は演劇部活動では抑圧・排除されることになるでしょう。すでにそういう動きが、他の学校の劇に対しても圧力としてなされています。これはとても危険な動きです。私たちは、歴史に汚名を残しかねないこの愚行を撤回させたいと思います。心ある市民の皆さんの署名の力で、撤回させたいと思います。ご協力をお願いします。

~~~~~

実行委員会では、ウェブサイトを開設しています。

署名用紙をダウンロードできます。
ネット署名も呼びかけています。
台本は、こちらで読めます。

<https://ashitanohanako1108.wixsite.com/home>